

退職所得分 市県民税 納入申告書											別府市長あて			
											年	月	日	提出
年 月分				人数							人			
退職手当等支払金額		十	億	千	百	十	万	千	百	十	円			
特別徴収税額	市民税													
	県民税													
特別徴収義務者 千														
住所 又は所在地											印			
氏名 又は名称														
法人番号又は個人番号														
地方税法第50条の5及び第328条の5第2項の規定により、上記のとおり分離課税に係る所得割の納入について申告します。														

退職者の内訳

1月1日の住所				1月1日の住所			
別府市				別府市			
氏名	(生年月日 . .) 普・障			氏名	(生年月日 . .) 普・障		
就職年月日	.	.		就職年月日	.	.	
退職年月日	.	.		退職年月日	.	.	
退職金額				退職金額			
勤続年数	年			勤続年数	年		
市民税				市民税			
県民税				県民税			

退職所得分市県民税納入申告書 について

- 1 納入申告書は、退職所得に係る市県民税を徴収した月のみ記入してください。
- 2 納入申告書の各欄は、次により記入してください。
「年月分」...退職所得等から市県民税を特別徴収した年と月
「人数」...退職所得等から市県民税を特別徴収した人数
「退職手当等支払金額」...支払った退職所得等の総支払金額
「特別徴収税額」...算出した市県民税それぞれの合計額

【注意事項】

「法人番号又は個人番号」...特別徴収義務者の法人番号を記載してください。ただし、特別徴収義務者が個人事業主である場合は、納入済通知書裏面の納入申告書には個人番号を記載せず、もう一部納入申告書を取得し（別府市ホームページ申請書ダウンロードから取得できます。）、個人番号等を記載して別府市あてに提出してください。

- 3 退職者の内訳を記入してください。
退職者の内訳欄が不足する場合は、特別徴収関係書類中の「退職所得に係る通知書」に記入し、提出してください。（事業所独自の内訳書を使用しても差し支えありません。）
- 4 普通退職の場合は「普」を、障害者になったことに直接基因して退職したと認められる場合は「障」を で囲んでください。